

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉 (たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営 常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMC(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

コンサルタントの現場から

第55回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

減価償却費の意味

銀行などからのご紹介で、中堅・中小企業をご支援させていただく時があることなだが、利益を出すために適切に減価償却費が計上されていないということがある。特に、銀行などから融資を受けていると、赤字では具合が悪いので、何とか形の上では黒字にしておきたいということがおきく。その背景にあるように、減価償却費は費用計上するが、実際に

はお金が出ていかない。減価償却費はキャッシュが残ることになる。減価償却費を減らして利益を増やしてもキャッシュそのものは増えない。それ以上問題なのは、利益を増やすことで支払う税金を増やすことになりかねないということだ。

実際、銀行も見せかけの利益に騙されるようなことはなく、減価償却不足金額をチェックして、利益の実力値を把握している。このようにすることで、意味がないということだ。逆に、利益を

まかそうとしていない。受け取られかねない。経営の基本は、いかにお金を有効に使って新たなキャッシュを生み出すかということになる。キャッシュフロー経営という視点からは、過少な減価償却は問題というところだ。

ところで、減価償却費には、3つの意味がある。良くご存じの方には釈迦に説法ということになってしまいが、今一度、どういう意味があるのか確認しておきたい。

一つ目の意味としては、費用配分という意味がある。もともと固定資産は、長期に渡って使用する資産である。従って、その固定資産の使用期間に渡って費用計上していくというのが、基本の考え方ということになる。すなわち、減価償却費は、設備等の固定資産を使用期間で費用配分したものである。逆にならぬように、減価償却は大切なことである。

二つ目としては、適切な資産価値という意味がある。設備などの固定資産は、B/Sの借方に資産として計上する。この資産の価値は、時間が経過するほど下がる。いつまでも、新品の価格で売れるというわけではないので当然だ。すなわち、資産の評価としては、減価償却した分だけ価値が下がるということであり、もし、適切に減価償却されていないようだと、資産価値が下がっているにもかかわらず資産価値があると言っていることになってしまう。健全なB/Sという視点からも減価償却は大切なことである。

三つ目の意味は、資金回収という意味だ。冒頭記載した話になるのだが、減価償却費は、費用計上するが、実際にはお金が出ていく訳ではないので、その分お金は残ることになる。すなわち、減価償却費は投資した資金の回収という意味がある。ちなみに、お金が出ていくのは、実際に設備等を購入する際にお金の支払いをした時であり、減価償却費を計上した時ではないので、その点、混同しないようにしておこう。

ところで、投資をする際に、投資した資金が確実に回収できるかどうかは事前に検討する必要がある。その資金回収の中には、減価償却される金額も含まれることになる。尚、投資回収可否の判断は、投資する資金にかかる資本コストを上回る回収が付け加えておきたい。

投資枠の判断基準にも、とここで、キャッシュフローという視点からすると、投資枠を判断する基準として、減価償却費を一つの目安にする。営業キャッシュフローは、利益と運転資金増減に減価償却費を加えたものである。この営業キャッシュフローから投資キャッシュフローを引いたものをフリーキャッシュフローと呼ぶが、事業を進める上で守るべきポイントは、フリーキャッシュフローをいかにプラスにするかである。フリーキャッシュフローがプラスであれば、借入金金の返済や配当等と共に、将来に向けて事業拡大するための原資を確保することができるとなる。逆にマイナスであれば、資金が不足することになる。借入や増資等、不足分を調達する必要に迫られる。従って、経営を担う上では、何としてもフリーキャッシュフローをプラスにする必要があるのだが、そのための判断基準として、投資を減価償却費の範囲にすれば、運転資金増減が大きくなれば、利益分をフリーキャッシュフローとして残せることになる。フリーキャッシュフローをプラスにする必要がある以上、投資枠として許される範囲はいくら位なのかは、減価償却費を一つの目安にする。営業キャッシュフローは、費用計上するものは色々あるが、減価償却費は、他の費用と異なる。適切な減価償却で健全経営を心掛けたいものだ。

ちなみに、減価償却の方法には、定額法(毎期一定の額を費用計上する)や定率法(一定の率を掛けて費用を算出する)がある。ご存じの通りだ。(ちなみに、特殊な場合だが、利用度に比例した費用を計上する生産高比例法もある)

資産価値という意味

資金回収という意味

投資枠の判断基準にも

フリーキャッシュフロー

フリーキャッシュフロー

フリーキャッシュフロー

企業情報、掲載します
新製品・サービスなど
企業情報を掲載させていただきます。
掲載ご希望の企業の方は下記までご連絡ください
バンコク週報 info@bangkokshuho.com

タイでの工場建設・増築
お任せください!
タイでの工場建築・増築・設備に経験豊富な日本人が全力でサポート!
提案力かつローコストが強み! 工場内設備・電気設備も一括対応
設計・施工・メンテナンスも一貫して自社社員でフォロー!
電子機器メーカー様 (2015年竣工) ナコンパトム県
自動車部品メーカー様 (2014年竣工) サムットプラカーン県
バルブメーカー様 (2013年竣工) チョンブリ県
TCC TECNICA CO.,LTD.
www.tcctecnica.co.th
お問合せはこちら Tel: 081-991-5078 (杉浦)
E-mail: sugiura.tcc@tcctecnica.co.th
TCC TECNICA CO.,LTD.
(本社)パトナーニ・支拠点シーラチャ 日本人社員6名
122 Moo.20 T.Klongnueng, A.Klongluang,Pathumthani 12120

人と空気と水の環境創造
SANKEN-EMC Company Limited
ITF Tower 140/66, 28Floor Silom Road, Suriyawong Bangrak, Bangkok 10500
TEL : 0 2615 6100 FAX : 0 2615 6128-30
E-mail: info@sanken-emc.co.th
www.sanken-emc.co.th
三建設備工業株式会社とタイ王国の実績豊富な上場ゼネコン EMC PUBLIC COMPANY LIMITED社の共同出資会社として建築工事・空調設備・衛生設備・電気設備・クリーンルーム設備などのプランニング設計・施工・保守・リニューアルなどの一体的なサービスを提供します。
「JAPANスタンダード&ローカルコスト」にてご提案します。